

## Environmental Design

2 units (selection)

Ryoichi Yamanaka · ASSOCIATE PROFESSOR / INSTITUTE OF TECHNOLOGY AND SCIENCE, Yasunori Kozuki · PROFESSOR / INSTITUTE OF TECHNOLOGY AND SCIENCE

**Target)** 持続可能な社会の形成を目標とする環境計画の構造と手法について理解し、各人がその立案に関わり、活動できる基本的な能力を習得する。

**Outline)** 環境計画に係わる、環境問題の発生のしくみと歴史(授業計画 2-6 回)、国内外の環境法、環境経済、環境技術(授業計画 7-14 回)について、その詳細を講述するとともに、簡単な環境保全プログラムを自ら作成・実施し、評価する(授業計画 1,15-16 回, レポート)。

**Keyword)** *Basic environmental law, global warming, Recycling of waste, Pollution, Biodiversity*, 環境家計簿

**Fundamental Lecture)** “Fundamental Environmental Study”(1.0), “Resources Circulatory Engineering”(1.0)

**Relational Lecture)** “Restoration Ecology”(0.5), “景観デザイン”(0.5)

**Requirement)** なし

**Notice)** なし

**Goal)**

1. 環境問題の環境基本計画の4つのキーワード(循環, 共生, 参加, 国際的取り組み)と各種法律の関わりと国際政治の背景, 環境計画に必要な概念や手法, 技術について説明することができる。(授業計画 1-14 回)
2. 簡単な環境保全活動を作成・実施し, その評価を環境家計簿により行うことができる。(授業計画 15-16 回, レポート)

**Schedule)**

1. ガイダンス, アンケート
2. 日本の公害・環境汚染(復習レポート 1)
3. 世界の公害・環境汚染(復習レポート 2)
4. これからの環境問題(復習レポート 3)
5. エコライフ 1:地球温暖化と CO2 排出量削減(復習レポート 4)
6. 中間試験(復習レポート 5)
7. テスト返却, 環境計画と環境技術 1: 環境政策(復習レポート 6)
8. 環境計画と環境技術 2:環境容量, 環境影響評価手法など(復習レポート 7)
9. 環境計画と環境技術 3:エネルギー, 環境監視, 汚染制御技術など(復習レポート 8)
10. 環境計画と環境技術 4:地球環境政治, 環境教育, 環境倫理(復習レポート 9)
11. これからの環境計画 1:環境価値, 政治(復習レポート 10)
12. これからの環境計画 2:エコライフ 2(復習レポート 11)

13. これからの環境計画 3:最新の事例紹介(復習レポート 12)

14. 定期試験(復習レポート 13)

15. エコライフ 3:環境家計簿発表会(復習レポート 14)

16. テスト返却, 総括

**Evaluation Criteria)** 目標①:中間テストと期末試験(50 点), 目標②:環境家計簿(50 点) 評価:目標①と②が6割以上で合格, かつ目標①と②の合計点を本科目の評点とする

**Textbook)** 新版 環境工学(住友恒ら, 理工図書)

**Reference)** 環境白書

**Webpage)** <http://www.ce.tokushima-u.ac.jp/lectures/N0016>

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215744>

**Student)** 他学科, 他学部学生も履修可能。

**Contact)**

⇒ Yamanaka (総合研究実験棟(エコ棟)504 号室, +81-88-656-7334, yamanaka@eco.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 火曜, 14:35-17:50)

**Note)**

- ◇ 止む無く欠席する場合は, 事前に山中教員まで必ず連絡すること。昼間コース学生の JABEE 合格は【成績評価】と同一である。
- ◇ 使用した資料などは適宜 u-Learning に掲載する
- ◇ 授業を受ける際には, 2 時間の授業時間毎に 2 時間の予習と 2 時間の復習をしたうえで授業を受けることが, 授業の理解と単位取得のために必要である。